

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成25年7月22日(月)

研究課題	マイクロ金型による微細転写加工技術に関する研究	
研究期間	平成22年度～24年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.2
	2 目標の達成度	4.2
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	4.0
	4 今後の発展性	4.0
	5 総合評点	4.1
<p>転写加工用金型の製造に適した加工技術については、グラッシーカーボンを金型材料とし、エキシマレーザ加工装置による微細加工について研究を行ない、安定的な加工技術を開発している。</p> <p>また、樹脂フィルムやガラス板に対する転写性・離型性を向上させる技術についても、研究の成果として有効な加工条件等を提示している。</p> <p>これらは、マイクロ流体デバイスの流路加工に十分対応可能な微細転写加工技術であり、マイクロ部品の量産化に寄与するものとして大いに評価できる。</p> <p>今後は、マイクロ部品の量産化、低コスト化が早期に実現するよう、民間への技術移転を積極的に取り組まれたい。</p>		